

(参考様式)

令和 7 年度 第 1 回 介護・医療運営推進会議 議事録

令和 7 年 9 月 25 日

事業所名	あおかい定期巡回ケア青森中央		
担当者	H	電話番号	017-718-3453
1. 開催日時	令和 7 年 9 月 25 日 (木) 11 時 00 分 ~ 12 時 00 分		
2. 開催場所	有限会社 青森介護サービス JMG ビル 3 階研修室	今年度開催回数 (1 回目)	
3. 出席者	出欠	氏名	構成員の属性
	○	A 様	(青森市福祉部介護保険課)
	○	B 様	(居宅介護支援事業所 マミーの手)
	○	C 様	(青森市中央地域包括支援センター)
	事業所側	E	(青森介護サービス ケアプランセンター)
		F	(管理者)
		G	(計画作成責任者)
H		(計画作成責任者)	
I		(看護師)	
4. 活動状況の報告	1. 利用者数増減 2. サービスのお問合せ状況、お問い合わせの傾向、事例紹介		
5. 活動状況の評価	(A 様) 啓蒙活動について、サービスを知られていないというより、料金が高額であることがサービスにつながらない原因なのかなと感じる。必要な人にはぜひ知っていただきたいサービスなので、何かのタイミングで原因を探ってみて欲しい。 町会とのかかわりは、地域によって活動が活発なところもあれば、ないこともある。地域密着型サービスなので、町会との関係は密にいただき、町会活動があれば積極的に参加をしてもらいたい。		
6. 主な議題	1. 活動状況報告 2. 自己評価・外部評価について 3. 皆様からの要望や助言について		
7. 要望、助言等	(B 様) 詳しくサービスの事がわからなかったが、実際利用してみて、安心できるサービスだと思った。料金が高額でもあり、この利用者だから使えたのだと思っている。サービスを利用する前は、訪問しても布団を被って横になり、「薬は飲んでいる。具合は悪くない。」と話し、なかなかサービスに踏み込めずにいた。サービスを利用し服薬管理等してもらったことで、こちらとしても安心できた。退院したばかりで 1 人暮らしの人だとサービスの利用にいいのではないか。		

(参考様式)

	要介護４・５の末期がん等でヘルパーの入浴が出来ないと、訪問入浴を利用する単位が足りなくなるのが困っている。 ・生活保護の方も利用できる？ A. 利用できます。 (C 様) 利用者が増えればいいと思う。生活保護の方は、介護扶助で受けられるので利用はしやすいのではないかと。青森市自体低所得者が多いので、料金が低いとサービス利用に踏み切れないと思う。行政でも地域支援事業として何とかしてもらいたいと思う。利益が無いとサービス継続は出来ないと思う。いざ利用したいときにサービスが無いのは大変だ。 末期がんで自宅で亡くなりたいという方や、家族が介護休業取るのが難しい人には素晴らしいサービスだと思う。 ・痰吸引はやっている？ A. 介護ではできませんが、看護では対応できます。
8. 意見等への対応等	・退院直後からサービスが安定するまでの短期間の利用も提案していきたい。 また、末期がんの方の利用も過去に合ったので、サービスの利用につなげていきたい。 ・ 7 月から看護との一体型になり、訪問時の様子をすぐ共有しサービスの連携を強化出来ているので、利用者やご家族の安心につながっていると感じている。 看護師も中心となり営業も推進していきたい。 ・ 地域との交流をもっと増やし、事業所から発進できるイベントを計画していきたい。
9. その他特記事項	・ BCP（介護施設・事業所における業務継続計画）について R5 年 10 月に策定完了（災害版） R6 年 9 月 18 日に自社他部門と合同で訓練実施（災害） R7 年 2 月感染症版 BCP 策定完了。2 月 20 日に研修、訓練実施済 R7 年度の各種委員会（感染症、虐待防止、身体拘束適正化）の計画を策定済 令和 7 年 7 月 25 日感染対策委員会実施 令和 7 年 9 月 16 日～22 日 パート含む全介護看護職員 BCP（自然災害）訓練の実施。